

## コロナ禍における教育の質の確保 ～逆境こそ成長の原動力～

学長室から

竹屋 元裕



令和4年の年明けと共にオミクロン株による第6波が襲ってきました。熊本県では1月21日から「まん延防止等重点措置」が適用されました。期限は2月13日までですが、延長の可能性が高いと考えられます。この様な中で、4日（金）の一般選抜入試は滞りなく終了することが出来ました。熊本会場はもとより地方会場の監督・運営にあたって頂いた教職員各位に感謝申し上げます。

先月、経済産業省から各事業者に対してコロナ禍に対応したBCP（事業継続計画）の策定とその実行が要請されましたが、大学も例外ではありません。本学にとって最も重要な事業とは「教育の質の確保」だと思えます。改めて「優れた医療技術者の養成を通じて社会に貢献する」という建学の精神に立ち返る必要があります。

これまでの経験からコロナ禍における教育について、以下の様に更なる工夫が必要であることを実感しています。①授業については遠隔授業

のメリットを活かしながら対面とうまく組み合わせる。②学内実習は十分な感染防止対策の上、対面で実施する。③学外実習では学生のPCR陰性を確認の上、嚴重な感染回避行動を指導する。さらに実習受入れ不可の場合に備え、学内でのシミュレーション教育の充実を図る。④定期試験については、可能な限り対面で実施する。先日の後期定期試験は全面オンラインとしましたが、多くの弊害が浮き彫りになりました。オンライン試験ではノートや参考書が参照可能であり、更には何らかの通信手段を利用して解答を共有することも出来てしまいます。試験に対する学生の緊張感が低下し、試験勉強の意欲も減弱している様で、学力の低下に繋がっていることは明らかです。

逆境こそ成長の原動力です。コロナ禍にあっても、新しい教育体制を工夫することによって教育の質の確保が可能と考えます。喫緊の検討課題です。

## 多様な色覚…求められなくても対応必要

1月28日（金）、東京慈恵会医科大学 岡部正隆教授＝写真＝による「色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン～色覚が異なる人たちへの配慮と工夫～」と題した講演会が実施されました。

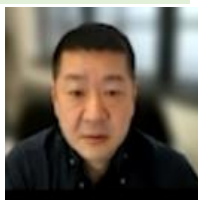
今回は、新型コロナウイルス感染対策のためZoomによるリアルタイム配信による講演となり、学外からの視聴10人を含む合計75人の参加がありました。

講演内容は、色が見える仕組みから色弱の人は何に困っているのか、カラーユニバーサルデザインとはなにか、学校・職場における配慮と指導など、多岐にわたりましたが、非常にきめ細かく、わかり易いご講演でした。

講演後、受講者にアンケートをお願いしたところ、短時間で多くの皆さまから回答をいただきました。その多くが「家庭でも取り入れたい」「紹介されたシミュレーションソフトで講義資料を検討していきたい」など、意欲にあふれたものでした。

岡部先生が何度も繰り返された「40人に1人はいる。求められなくても対応が必要」な実践を行うことで、異なる感覚をもつ人々を排除することのないインクルーシブな環境をつくり上げる方法の一つになればと思います。

（WGメンバー 医学検査学科：松本珠美）



東京慈恵会医科大学

岡部正隆教授が講演



私の秘話  
★  
ヒストリー

リハビリテーション学科  
言語聴覚学専攻  
永友真紀講師

モルモットのココア

私が生まれた時から実家にはいつも動物がいた。犬、猫、鶏、チャボ、インコ、亀、ウサギ、金魚などなど。菊池の山あいの実家で、動物の匂いや手触りに癒されながら育ったように思う。

大人になって親元を離れてから動物を飼うことはなかったが、一昨年夏から、子どもにせがまれてモルモットを飼うことになった。このモルモットは触れ合い動物園の方から、「どれでも持って行っていいよ。」と言われてタダで頂いたものである。名前はこげ茶色の体毛にちなんで“ココア”と名付けた。

ココアの食べ物はペレット、

牧草、野菜であるが、一番おいしそうに食べるのはその辺りに生えているフレッシュな草である。特に、細長い草やヨモギを好んで食べる。元来、動物好きの私はココアの喜ぶ顔が見たくて、お土産にせっせと草を取って帰るのが日課となった。

仕事が終わった夕方から夜にかけて、3号館裏の土手の辺りでビニール袋を持ってウロウロしている姿を見かけられた際には、どうか温かく見守って頂ければと願っている。不審な行動に見えるかもしれませんが、“不審者”ではありません。



食事をするココア

銀杏アラカルト



図書館だより 選書ツアーの243冊展示中

昨年11月27日の第10回選書ツアーで選ばれた書籍243冊を図書館選書コーナーで展示しています。選書者のコメント付きで、過去の分も含め展示中です。医学・医療系以外にも文学や社会学、スポーツ、絵画まで、様々な分野から選べます。検索は前回ご案内したとおり、スマホからもできます。送付サービスも行っていますので、送付希望者は、マイライブラリーからお申し込みください。現在、春休み

春休み長期貸し出しも実施



長期貸出中ですので、返却日は、卒業予定者を除き4月11日(月)です。学修や読書にどうぞご利用ください。

◆一般選抜試験に478人挑む4日(金)、令和4年度入試後半戦の山場となる一般選抜が実施され、133人の枠に478人が挑みました。午前中に1科目、午後に学科専攻毎に2科目を受験。一般選抜では、筆記試験の総合得点及び提出書類を総合的に評価することにより合否を判定します。試験終了後、理学療法学専攻を受験した生徒は「選択科目の試験時間が足りなかった、難しかった」と話していました。合格発表は大学入学共通テスト利用選抜(前期日程)とともに17日(木)に行われます。

熊本保健科学大学

学内の梅、咲き始める



今週の1枚



3号館駐車場脇の梅の花Ⅱ写真Ⅱがまもなく見ごろを迎えます。レストラン前の梅の花も咲き始めました。

週間行事予定 (2月10日~2月17日)	
2 / 10 (木)	助産師 国家試験
2 / 11 (金)	保健師 国家試験
2 / 13 (日)	看護師 国家試験
2 / 16 (水)	臨床検査技師 国家試験
2 / 17 (木)	ハラスメント防止研修会